



Leaf

平成26年5月
盛岡市三本柳6-1-1
盛岡赤十字病院
地域医療連携室
発行責任者 院長 松田 壯正

盛岡赤十字病院医療連携だより No.29

基本理念

私たちは、人道・博愛の赤十字精神にもとづき、みなさまの生命と健康を守るために、信頼される医療を実践します。



+ 地域医療連携室新体制 について

地域医療連携室長 さい とう まさ ひこ
齋 藤 雅 彦

関係各医療・介護・福祉機関の皆様には平素より大変お世話になっております。

地域との連携は当院の5つの基本方針の1つでありこれまでも重点を置いて参りましたが、平成26年度より地域医療連携室は新体制となりました。地域における中核病院としてかかりつけ医を支援し、地域医療の充実に資するため、地域医療支援病院の承認を目指します。また、「地域完結型医療」を実現するため、地域の医療はもとより介護・福祉機関との連携を強化します。

上記の理念の実現を目指してまずは連携室専従の看護師長を配置し、経験豊かな医療のプロフェッショナルによる問題の切り分けの視点を持ち込みました。夜間や休日など予定外の受診につきましては、医療の連続性を保つべくかかりつけの医療機関に救急外来より速やかに報告します。当院の連携医療機関としてご登録いただければ各科医師のPHSが直通となり、オンタイムでご相談・ご紹介に応じます。また今月から地域医療連携室のホームページを更新し、利便性を高めたFAXの患者紹介書式をダウンロードしていただけます。

今後とも当院ならびに地域医療連携室をご活用いただけますよう、スタッフともどもよろしく願い申し上げます。

新年度の御挨拶



事務部長 ^{の だ ひろ かつ} 野田 博克

このたび、4月1日付で事務部長を拝命いたしました。今回の診療報酬改定は「機能分化」と「連携」が重点課題となっています。患者様が必要なときに適切な医療を受けることができるよう、かかりつけ医の先生方と病院、そして福祉施設や地域のケアマネージャーとの緊密な連携が地域の医療だけでなく社会を支える基盤の一つになると考えます。

当院では今年度から地域医療連携を強化するために新たに連携室専従の看護師長を配置し、医師のPHS番号も公開しました。また「顔の見える地域連携」を進めるために6月には連携医療機関の集いも開催します。4月には新たな施設基準として在宅療法後方支援病院の届出もしています。当院の地域における役割を明確なものにし、公的病院としての責務を果たすために努力して参りますので、どうぞ今後ともご指導をよろしくお願いいたします。



看護部長 ^{おい かわ ちか こ} 及川 千香子

～“日赤”がより身近な存在でありますように～

「人道・博愛の赤十字精神にもとづき、信頼される医療の実践」という病院基本理念を大切に、“命”と向き合う現場に在って、日々患者さんと向き合い、寄り添い、「その思い」を感じ取れる、そんな感性豊かな看護の実践に努めております。また、地域の医療機関の皆様にとりましても、相互に相談し合いながら、必要な折にはいつでも地域に出向いて参りたいと存じます。

“日赤”がより身近な存在でありますよう、忌憚のないご意見をちょうだいしながら「地域の包括ケアに対応できる人材育成」に精進して参りますので、今後共よろしくご意見申し上げます。



看護副部長 ^{め と き} 目時 のり

地域の医療施設の皆様方には日頃から大変お世話になっております。高齢者や慢性疾患の増加に伴い切れ目のないケアの実現や、介護ニーズへ対応するために、施設間の連携がますます重要になってきています。ご紹介いただいた患者様をスムーズに受け入れるためのシステム作りと、患者様やご家族に病院間の連携をご理解いただく説明を行えるように努力いたします。今年度もよろしくご指導の程お願いいたします。



看護副部長 ^{ふじ ね みち こ} 藤根 美知子

三つの『わ(話・和・輪)』

私は、今まで「話」「和」「輪」の三つの『わ』を看護管理の目標として院内連携を図りたいと考えて、実践してきました。向かい合って対話する「話」。互いに相手を大切にして協力し合う関係を保つ「和」。人との繋がりを広げて他職種と協働し団結する「輪」。この度、看護副部長となり微力ではありますが、『わ』を大切に地域の医療機関の皆様とも連携を強化したいと考えておりますので宜しくご意見致します。

＋ 夜間救急体制の変更のお知らせ ＋

当院では、夜間の救急患者について、内科系と外科系の医師2人体制で診療しておりましたが、医師数の減少と高齢化のため、この体制を維持することが困難な状況となりました。

このため、2次救急輪番日（3日毎に1日）はこれまでどおり2人体制で診療し、輪番日以外（3日のうち2日）は1人体制に変更いたしました。勤務医の業務負担を軽減し、今後も救急医療体制を継続するためにやむを得ずとした措置です。重症の場合には医師をオンコールするなど、症状に応じて対応いたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、土日・祝日の日中（8：30～17：00）につきましては、これまでどおり内科系と外科系の医師2人体制で診療いたします。



拡大

病院玄関



急患室窓口

夜間でも患者様に分かりやすいように、急患室窓口・病院玄関に掲示を始めました



第1回 盛岡赤十字病院 連携医療機関の集い

来る6月19日(木)地域医療連携の推進を図ることを目的に標記の懇親会を開催致します。地域の医療機関の先生方と直接顔の見える交流会を通して、スムーズな紹介・逆紹介をすすめ、地域完結型の良質な医療を提供していきたいと思っております。

すでに盛岡市・紫波郡・岩手郡の医療機関・介護老人保健施設、その他近隣市町村で連携をしている医療機関へ御案内をしておりますが、遠方の医療機関の先生で参加頂ける場合は下記までご連絡下さい。



日時：平成26年6月19日(木) 午後7時～午後9時
場所：ホテルメトロポリタン NEW WING
対象：医師
参加費：無料

地域医療連携室 担当：石橋 (TEL 019-637-3312)

開業医訪問

今月より地域医療連携室で開業医を訪問させていただき、ご意見・ご要望などを医療連携活動に反映していきたいと思っております。訪問する主なメンバーは当院病院長、事務部長、連携室専従の看護師長です。

また、連携だよりの次号より開業医のご紹介ということでアピールポイントや診療時間などの基本情報等を掲載させていただき、地域の患者様にもご紹介させていただき予定になっております。

こちらからアポイントメントを取ってお問い合わせしますので、ご協力いただける地域の先生方はよろしくお願い致します。(右図は当院を例にして作成したものです)



当院のNEWS

連携医紹介

盛岡赤十字病院

アピールポイント



1. 従来のものより高精度
2. 副作用が少ない

放射線科医師



あべ ちひろ
阿部 知博



かくはら のりよし
角原 紀義

新型ライナックのご紹介

平成26年4月より新しく更新された最新型のライナック（放射線治療装置）が稼働を開始しております。

地域医療連携室よりお知らせ

地域医療連携室利用案内

ご紹介患者さまの診療予約のご案内（医療機関向け）

当院では、紹介状持参の患者さまについては、できる限り優先的な配慮をさせていただきます。

また、当日は予約患者さまが優先されますので事前に地域医療連携室にて受診予約をとっていただくことをお勧めしております。

ご紹介患者さまの流れ



紹介手順

1. 紹介元医療機関（申し込み）

「外来診療申込書」をご記入の上、地域医療連携室へFAX送信してください。

「外来診療申込書」は、こちらからダウンロードしてご利用ください。

- ・診療予約申込書(PDF)
- ・診療予約申込書(Excel)
- ・診療予約申込書(産婦人科用)(PDF)
- ・診療予約申込書(産婦人科用)(Excel)

*緊急患者さまをご紹介いただく場合には、当該診療科の医師まで直接お電話にてご連絡ください。受診日時が確定しましたら、「外来診療申込書」を地域医療連携室へFAXで送信してください。

2. 盛岡赤十字病院・地域医療連携室（確認・予約決定）

受診日時を調整の上、15分以内を目処に予約日時の入った「来院ご案内」をFAXでお送りいたします。

3. 紹介元医療機関（患者さまへ説明）

「来院ご案内」と「紹介状（診療情報提供書）」を患者さまにお渡しください。

受診予定日に「保険証」・「紹介状（診療情報提供書）」・「来院ご案内」をご持参下さいようお願いいたします。

病院ホームページ「地域医療連携」について更新致しました。

・地域医療連携室長挨拶

・地域医療連携室利用案内

診療予約の流れをイラスト入りで紹介しております。

また、紹介元の医療機関様でも当院の予約申込書のFAX様式をダウンロードして使用できるようになっております。

どうぞご利用下さい。

・診療科紹介

各科の医師一覧と認定医などの情報を掲載しております。

ホームページについてご要望等がございましたら下記にて対応致しますのでよろしくお願い致します。

当院医師 PHS 番号の公開を御希望の先生は、地域医療連携室までご連絡お願い致します。

地域医療連携室 担当：石橋

TEL 019-637-3312

e-mail renkei@morioka.jrc.or.jp